

DSP5D ファームウェア

主なアップデート内容

DSP5D Firmware V1.26

修正した不具合

- MY16-AT カードを装着した場合、カードのチャンネル 9～12 からまれにホワイトノイズが発生することがある不具合を修正しました。

DSP5D Firmware V1.25

修正した不具合

- PM5D と DSP5D をカスケード接続して、PM5D のパネル操作の対象として DSP5D を選択している場合、以下のような条件が重なると、選択しているチャンネルとその隣のチャンネル以外のメーターが振れない不具合を修正しました。
 - チャンネルストリップのメーターとトップパネル上部のメーターで同じメーターポイントを設定している
 - チャンネルストリップとトップパネル上部のメーターで異なるレイヤーのメーターを表示している
 - EQ や COMP などの特定の画面を表示している
- PM5D と DSP5D をカスケード接続して、PM5D のパネル操作の対象として DSP5D を選択している場合、COMP や GATE 以外の画面を表示している状態でチャンネルレイヤーを切り替えると、COMP/GATE が ないチャンネルの GR インジケーターが瞬間的に点灯してしまう不具合を修正しました。
- PM5D と DSP5D をカスケード接続して、PM5D のパネル操作の対象として DSP5D を選択している場合、以下のような条件が重なると、選択しているチャンネルとそのペアとなるチャンネルのパネルや画面の GR メーターが最大値を表示し続ける不具合を修正しました。この不具合を修正するためには、PM5D だけでなく DSP5D のファームウェアもアップデートしてください。
 - PAIR MODE が VERTICAL PAIR に設定されている
 - 選択しているチャンネルとそのペアとなるチャンネルの GATE や COMP がオンになっている
 - INPUT チャンネルストリップとトップパネル上部のメーターで異なるレイヤーが選択されている。

DSP5D Firmware V1.23

修正した不具合

- OUTPUT ISOLATION 機能が設定されている MIX/MATRIX/STEREO チャンネルのパッチが、シーンリコールやファイルのロードによって変更されてしまう場合がある不具合を修正しました。
- エフェクト/GEQ モジュールのパッチが、MIX/MATRIX/STEREO チャンネルへのインサートから INPUT/STIN チャンネルへのインサートに変更されると、画面上にパッチ設定が表示されない不具合を修正しました(表示だけの不具合です)。
- SECURITY 画面の LOCK PARAMETER SELECT 欄で、GEQ モジュールがインサートされているチャンネルを含む INPUT PATCH または OUTPUT PATCH をロックしても、GEQ モジュールのパッチが変更されてしまう場合がある不具合を修正しました。

DSP5D Firmware V1.22

修正した不具合

- PM5D どうしをカスケード接続している場合、カスケードマスターとなる PM5D に接続された GPI 機器からのトリガー信号で両方の PM5D でシーンリコールすると、まれにカスケードスレーブだけシーンリコールされないことがある不具合を修正しました。
- PM5D V1 で作成したデータを PM5D V2 にロードすると、画面表示には正しく反映されますが、INPUT/OUTPUT PATCH、MIDI CONTROL CHANGE などの設定が画面どおりに動作しない不具合を修正しました。
- PM5D と DSP5D のカスケード接続を有効にすると、DSP5D のメモリーが一部消去される場合があるので、確認のメッセージを表示するように修正しました。PM5D に空のシーンがあると、DSP5D 上の同じ番号のシーンは消去されます。シーンに関連しないライブラリーは、PM5D のライブラリーデータが DSP5D に送信されて上書きされます。
- PM5D と DSP5D がカスケード接続されている場合、INPUT チャンネルストリップと STIN チャンネルストリップで異なるマシンのレイヤーを選択していると、パネル上のエンコーダーの PAN 表示やネームインジケータの輝度などが正しくなかったり、MIX セクションのエンコーダーで ST IN から MONO バスへのセンド操作ができないなどの不具合を修正しました。
- PM5D どうしをカスケード接続している場合、DCA グループや MUTE グループをカスケードリンクしている状態でシーンリコールすると、画面とパネルの表示が一致しないことがある不具合を修正しました。

DSP5D Firmware V1.20

修正した不具合

- 2 台の DSP5D をカスケード接続(PM5D-DSP5D-DSP5D、PM5D-DCU5D—DSP5D-DSP5D、PM5D-DCU5D—DSP5D-DCU5D—DSP5D)して使用できるようになりました。

- カスケード接続している DSP5 に対して、現在の DSP5D と異なる CASCADE TYPE やワードクロック設定を含むファイルを正しくロードできない不具合を修正しました。
- PM5D と DSP5D がカスケード接続されている場合、カスケード接続が無効のときは DSP5D のバージョンと内蔵バッテリーの状態を表示しないように変更しました。この変更は、カスケード接続が無効な場合に DSP5D の内蔵バッテリーが「No Battery」と表示されてしまう不具合に対応したものです。
- PM5D と DSP5D がカスケード接続されている場合、マスタークロックとして選択できないワードクロックソースは WORD CLOCK 画面で選択できないように修正しました。
- DSP5D の内蔵メモリの初期化が完了したときに、電源を入れ直すまで一番左の OUT [TX] LED が点滅し続けるように変更しました(今までは約 10 秒で消灯していた)。また初期化中は、4 つの LED が左から順に繰り返し点灯するように変更しました(今までは 1 度だけ点灯していた)。
- カスケード接続が有効な状態で電源を切って入れ直したときに、自動的にカスケード接続が有効な状態に戻るように変更しました。カスケード接続が有効になるまでは、「Waiting for Auto Cascade Sync.」のメッセージが表示されます。この動作をキャンセルしたい場合は、マシン#1(PM5D)を選択して CASCADE ENABLED/DISABLED ボタンでカスケード接続を無効にしてください。
- PM5D-RH に AD8HR を 5 台以上接続した場合、長時間経過すると AD8HR との接続が切れたり AD8HR のゲイン設定が 6dB ステップに変更されたりする不具合を修正しました。
- PM5D と DSP5D がカスケード接続されている場合に、シーンをリコールしてから反映されるまでの時間を改善しました。
- FADER ASSIGN 画面のフェーダーレベルが実際のレベルと異なる場合がある不具合を修正しました。
- PREVIEW 中に MIX チャンネルのペアを設定してシーンをストアした場合、そのシーンをリコールしても CH to MIX や MIX to MATRIX のパラメーターが正しく反映されない不具合を修正しました。
- 内蔵エフェクトを GEQ モジュールに変更するシーンをリコールしても、リコール前のエフェクトがかかったままになることがある不具合を修正しました。

DSP5D Firmware V1.11

修正した不具合

- カスケード接続が有効な場合でも、グローバルペースト機能が動作するようになりました。
- カスケード接続が有効な場合でも、シーンストア/リコールのアンドゥ操作、およびシーンのエディット操作(インサート、カット、ペースト、クリア)が動作するようになりました。
- シーンのエディット操作(インサート、カット、ペースト、クリア)を数回行なうと、シーンリストに表示されているシーンのリコールやエディット操作ができなくなる可能性がある不具合を修正しました。

- PM5D のパネル操作の対象としてマシン#1(PM5D)以外を選択している場合でも、フェードタイム設定を含むシーンをリコールすると、フェーダーはフェードタイム設定どおりに動作するようになりました。
- MY16-CII カードを経由する DME コントロール機能が動作するようになりました。
- ユーザー定義キーに DIRECT RECALL 機能をアサインしてシーンリコールした場合、アンドゥが動作しない不具合を修正しました。
- 内蔵エフェクトを GEQ モジュールに転用した場合の不具合を修正しました。
- PM5D--DCU5D--DSP5D のカスケード動作時に、ネットワーク障害などで接続が一時的に切れた場合、ネットワークが回復してもまれに接続が復旧しなくなる不具合を修正しました。